

平成16年度事業報告書

事業概要

当財団は、中小企業支援法に基づく指定法人として、千葉市の地域経済を支える中小企業者への経営革新や創業を促進するとともに、新事業創出法に基づく中核的支援機関として各支援機関との連携を図りながら新事業創出に向けた各種支援事業を前年度に引き続き展開しました。

設立の趣旨に基づく活動の9本柱に沿った平成16年度事業は、経営・技術支援事業としてマネージャーを中心に企業訪問や経営相談を意欲的に行い、収集した企業情報をもとに特許取得や見本市出展などの支援事業へと展開、中小企業の経営革新に寄与しました。

創業支援施設事業としては、2つのインキュベート施設の管理をはじめ、インキュベーションマネージャーによる指導・助言などハード、ソフト両面から総合的な一貫支援を行いました。

情報提供事業としては、各種支援制度・事業の案内をはじめ、市内元気企業等の紹介など情報紙を発行したほか、企業活動に役立つ各種産業情報をホームページやメールマガジンを活用し、タイムリーな情報提供に努めました。

人材育成事業としては、高度情報化に対応したIT技術の情報提供や創業に必要な専門知識の習得など各種セミナー・研修事業を実施しました。

交流促進事業としては、企業間及び企業と大学研究者をコーディネートし各種産学交流会を開催するとともに、事業化に向けた研究開発や試作品の製作など産学共同研究によって新事業創出に向けた取り組みを支援しました。

調査研究事業としては、京葉工業地帯を中心とした製造業の発注側企業のニーズ調査を行い、平成17年度実施予定の市内中小企業の技術シーズ調査とあわせ、受注拡大に向けたマッチング事業につなげて参りたいと考えています。

技術振興事業としては、年々充実して参りました「第3回ベンチャーカップCHIBA」を10月に開催し、ビジネスプランの発表の場においてベンチャーキャピタルとのマッチングを行うとともに、受賞者の事業化を支援しました。

地域商業活性化事業としては、商店街に専門のアドバイザーを派遣し、各種の活性化方策の立案・実施を支援しました。

千葉市からの受託事業としては、中小企業者等の経営基盤安定化のための資金融資事業を行い、相談件数が最も多い資金相談に対しワンストップサービスを図りました。

事業内容

1 自主事業

(1) 経営・技術支援事業

ア 事業可能性評価事業

事業可能性評価委員会を設置し、事業プランの有望性、専門家派遣及び産学共同研究事業などについて審査・評価を行った。

- ・ 委員：外部有識者及びチーフマネージャー等 8名
- ・ 回数：11回（原則月1回）
- ・ 主な議題：事業計画の有望性の審査・評価（インキュベート施設の入居審査等）
専門家派遣企業の採択
産学共同研究事業の選考・評価

イ 窓口相談事業

相談・助言事業

マネージャー、専門相談員、弁護士による相談・助言

- ・ 相談件数：1,675件（資金相談311件、マーケティング 181件、技術122件ほか）

ウ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣事業

事業者・創業者等が抱える技術・経営上の諸問題について、専門家を派遣し課題解決のための指導・助言を行った。

- ・ 派遣件数：9件
- ・ 派遣日数：100日
- ・ 主な派遣先

芙蓉電子(株)：センサー一体型検知器の開発に係る技術指導（15日）

(株)プラムシックス：社内労務環境の整備に関する助言(15日)

三協プレス工業(株)：品質管理水準の向上(10日) ほか

(イ) 短期専門家派遣事業

経営革新を図る上で必要となる自社の現状分析や課題の特定などに対し、短期間で専門家を派遣し、基礎的な診断・助言を行った。

- ・ 派遣件数：9件
- ・ 派遣日数：27日
- ・ 主な派遣先：(株)のざわ、東部産業(有)ほか

(ウ) ISO認証取得支援事業

ISOを認証取得しようとする市内中小企業者等に民間の専門家を派遣し、認証取得までに必要な社内体制の整備を支援した。

- ・ 派遣件数：9件
- ・ 派遣日数：153日
- ・ 主な派遣先：(株)三建、(株)エイドほか

(I) 専門家登録 240名（中小企業診断士93名、技術士55名 ほか）

エ アドバイザー派遣事業

新事業創出促進法に規定する創業者等で、経営・技術など複数の課題を抱え、積極的にこの問題解決を図ろうとする企業に対し、アドバイザーグループを派遣して、総合的な支援を行った。

- ・ 派遣件数：2件
- ・ 派遣日数：20日
- ・ 派遣先：モノベエンジニアリング(株)、(有)R P Gテクニクス

(2) 創業支援施設事業

ア インキュベーション支援事業

インキュベーションマネージャーによる支援

インキュベーション施設入居者をはじめとした創業者に対して、総合的な一貫支援を行った。

イ 中央インキュベーション施設等管理運営事業

中央ビジネスインキュベート施設（6室）

- ・ 利用期間延長審査 1室
- ・ 空き室入居審査 5室

ウ 富士見インキュベート施設管理運営事業

(ア) 富士見ビジネスインキュベート施設（8室）

- ・ 利用期間延長審査 7室
- ・ 空き室入居審査 1室

(イ) 富士見商業インキュベート施設（6室）

- ・ 利用期間延長審査 5室
- ・ 空き室入居審査 1室

(3) 情報提供事業

ア 産業情報提供事業

各種産業情報をインターネットを通じて発信・提供するとともに、関連支援機関等とのネットワークを形成しながら情報提供環境の向上を図った。

- ・ 提供情報：財団事業案内、イベント情報、企業情報など
- ・ 登録・掲載数

トピックス掲載数：148件

登録企業数（いいネット）：768件

元気企業掲載数：31件

空き店舗マッチング情報（物件登録件数：14件、開業希望者登録件数：1件）

商店街いいねっと登録件数：86件

共同研究者情報登録件数：70件

イ 産業情報誌等発行事業

各種産業情報を掲載した「千葉市産業支援だより」を発行し、市内中小企業者及び関係団体等に情報提供を行った。

- ・ 掲載情報 経済トピックス、財団事業案内、企業情報など
- ・ 発行回数 年4回（季刊誌）
- ・ 発行部数 各2,300部（4月号は2,800部に増刷）
- ・ 頒布先 市内商店会、関係団体等

ウ メールマガジン配信事業

配信希望の登録者に各種産業情報を編集し配信した。

- ・ 掲載情報 経済トピックス、財団事業案内、企業情報など
- ・ 発行回数 月1回
- ・ 配信件数 361件（3月現在）

(4) 人材育成事業

ア セミナー

(ア) 経営セミナー事業

中小企業経営者等へ経済情勢や経営課題などに関する情報を提供し、経営革新を促進するため、千葉商工会議所との共催により講演会を実施した。

- ・ 対象 市内中小企業経営者・管理者及び創業を計画中の者等
- ・ 実施日 10月26日（火）13:20～15:00
- ・ 場所 千葉商工会議所14階第1ホール
- ・ テーマ 「逆境を切り拓く経営」
(有)佐藤満 国際経営・農業研究所 代表取締役社長 佐藤 満 氏
- ・ 参加者 56名

(イ) ITセミナー事業

情報技術革命の啓発普及を図るためのセミナーを開催し、情報技術を活用した経営革新の促進を図った。特に今年度は、平成17年4月から施行される個人情報保護法の周知及び対策の留意点などの講習も併せて行った。

- ・ 対象 市内中小企業経営者及び創業者等
- ・ 実施日 1月25日（火）13:30～16:40
- ・ 場所 財団研修室
- ・ テーマ 第1部：「中小企業経営者のためのIT活用」
第2部：「個人情報保護法をめぐる最新動向と具体的な対策」
- ・ 参加者 43名（第1部：20名／第2部：23名）

(ウ) 環境・安全等対策関連講習会事業（廃棄物処理法・建設リサイクル法）対応講習会）

循環型社会の構築を目指して、環境問題の理解を深めつつ、中小企業の健全な発展に対する意識の向上を図った。

- ・ 対象 環境または建設関連事業者等
- ・ 実施日 7月28日（水）13:00～17:00
- ・ 場所 ぱ・る・るプラザ千葉7階楓
- ・ テーマ 「廃棄物処理法の解説」
救資源研究所 代表 田口 計介 氏
「建設リサイクル法の解説」
(独)中小企業基盤整備機構 経営支援専門員 千葉 任 氏
- ・ 参加者 65名

イ 研 修

(ア) パソコン研修事業

企業活動に役立つ実践的なパソコン研修を実施し、中小企業の活性化を図った。

- ・ 対象 市内中小企業者及び従業員
- ・ 実施日 第1回 10月19日～11月10日 参加59名
第2回 2月8日～2月24日 参加56名
各回とも3日間のビジネス文書作成、会計処理、ホームページ作成基礎の3コースで計6講座を開設した
- ・ 場所 財団研修室

(イ) 創業者研修事業

創業に必要な基礎知識や具体的なビジネスプラン等に関する研修を実施した。

- ・ 対象 創業を志す者等
- ・ 実施日 1月22日～2月19日（5日間） 参加14名

- ・ 場 所 財団研修室
- ・ 内 容 創業時の検討のポイント、法人の設立手続き、ビジネスプラン作成のポイント ほか

(ウ) 経営革新実践研修

経営革新の基礎となる自社分析から計画策定のポイントや進め方など基礎的手法に関する研修を実施した。

- ・ 対 象 市内中小企業経営者及び管理者等
- ・ 実施日 2月2日～2月23日（4日間） 参加18名
- ・ 場 所 財団研修室
- ・ 内 容 経営革新の必要性、経営革新の戦略作り、事例紹介 ほか

ウ ビジネススクール事業

優秀な技術者や経営能力の高い事業者を育成するため、新事業支援機関等と連携し、実践的カリキュラムによるビジネススクールを計5講座開催した。

(ア) 研究開発能力向上講座 [J F E テクノリサーチ(株) : 技術系]

- ・ 内 容 自社技術開発の効率的な進め方、補助事業の活用方法等
- ・ 実施日 6月25日～27日（5日間）参加6名

(イ) I T系企業の知的財産戦略講座 [千葉大学知的財産本部 : 技術・経営系]

- ・ 内 容 プログラムやソフトウェアに関する知的財産保護の現状や問題点及び今後の動向や活用方法等
- ・ 実施日 3月17日 参加23名

(ウ) オンラインショップ活用セミナー [スリーエスフォーラム(株) : 経営系]

- ・ 内 容 オークションサイトや自社HP等でオンラインショップを構築した場合の基礎的な必要事項を事例を交えて紹介
- ・ 実施日 3月23日 参加45名

(エ) 特許講習・個別相談会 [(社) 発明協会千葉県支部 : 支援機関連携]

- ・ 内 容 企業における自社製品の価値を高めるブランド(商標)戦略について、最近の状況について講義し、参加者からの個別相談会を実施
- ・ 実施日 11月26日 参加42名

(オ) 特許情報活用セミナー [千葉県知的所有権センター : 支援機関連携]

- ・ 内 容 特許庁がインターネット上で公開している特許電子図書館の情報の検索方法を学び、技術情報の収集等に活用する
- ・ 実施日 2月14日、21日、28日 参加20名

(5) 交流促進事業

ア 産学官連携促進

(ア) 支援機関連絡会議事業

財団を中心とするワンストップサービス体制の充実を図るため、各支援機関の担当者と事業の連携促進について意見交換を行った。

- ・ 期 日 6月22日
- ・ 会 場 財団会議室
- ・ 参加機関 11機関

(イ) 産学官連携促進事業

事業者と大学研究者等による分野ごとの交流会を開催し、産学官の連携によるネットワークを形成することにより、共同研究や連携等への発展を支援した。

a 市内企業懇談会

- ・ 期 日 8月27日
- ・ 会 場 宮崎倶楽部
- ・ 参加者 9名
- ・ 内 容 市内異業種企業による懇談会

b 新製造技術に関する交流会

- ・ 期 日 2月24日
- ・ 会 場 財団研修室
- ・ 参加者 18名
- ・ 内 容 最新の製造技術情報及び参加者による意見・情報交換

c 環境分野に関する交流会

- ・ 期 日 3月4日
- ・ 会 場 財団研修室
- ・ 参加者 11名
- ・ 内 容 環境関連法制の最新動向、環境関連ビジネスにおける知財戦略及び参加者による意見・情報交換

d 環境分野に関する交流会

- ・ 期 日 3月9日、25日、31日
- ・ 会 場 財団研修室他
- ・ 参加者 8名
- ・ 内 容 V O C（揮発性有機化合物）除去システムの開発についての参加者による意見・情報交換

e I T分野に関する交流会

- ・ 期 日 3月7日
- ・ 会 場 財団研修室
- ・ 参加者 12名
- ・ 内 容 情報ネットワーク、プロジェクトマネジメントについての最新動向及び参加者による意見・情報交換

f ものづくりに関する交流会

- ・ 期 日 5月20日～3月18日
- ・ 会 場 財団会議室
- ・ 参加者 11名
- ・ 内 容 金属加工業者等で連携し、共同受注体制の構築、加工技術力の向上を目指す

(ウ) 産学共同研究促進事業

産学共同研究により、研究開発や試作品の製作などを行い、事業化に向けての支援を行った。

a 疲労亀裂進展監視技術の鋼橋溶接部への適用に向けた最終試験の実施および革新的

システム改良研究開発

- ・ コア企業 (株)アトラス
- ・ 連携大学等 大阪大学接合科学研究所、(財)日本溶接技術センター
- ・ 研究テーマ 前年の研究成果を踏まえた現場試験の実施と、本技術の改良・高度化の研究とそれらの評価

b う蝕(むし歯)菌の新診断キットを用いたう蝕予防・管理システムの構築の研究

- ・ コア企業 デンタルサポート(株)
- ・ 連携大学 日本大学松戸歯学部
- ・ 研究テーマ う蝕の原因菌2種の簡便な測定キットを作成・商品化と、予防管理システムの構築

c 弾性体を組み込んだ特殊金型に関する基礎研究

- ・ コア企業 (株)根本精機
- ・ 連携大学 千葉大学工学部
- ・ 研究テーマ 弾性体を組み込んだ特殊金型の圧力分布、金型の変形等についての理論解析及びその検証による、金型の最適形状の研究

イ コーディネート

(ア) コーディネート事業

専任のコーディネーターを配置し、新事業創出のため事業者・創業者と支援・連携機関との多様なマッチングニーズに対応した。

(イ) 新規市場開拓支援事業

中小企業者等がその独創的な技術やアイデアを活用した製品・サービスを見本市等に出展することを支援した。

- ・ 支援件数 7件
- ・ 実績 2004NEW環境展(三立機械工業(株)、(株)アルカディアトレーディング)
ベンチャーフェアJAPAN2005(有)RPGテクニクス) ほか

(6) 調査研究事業

地域産業資源調査・発掘事業

千葉市周辺地域製造業の機械加工ニーズ調査

千葉市周辺地域に存在する、機械加工分野に対する外注ニーズのありそうな発注側企業の現在の事業内容や発注形態等について実態を把握するとともに、今後の製品開発動向等も調査し、市内に所在する機械加工を取り扱う中小・ベンチャー企業の成長支援等の産業振興施策に反映させることを目的にした調査。

- ・ 対象 千葉市周辺地域の製造業で、機械加工外注ニーズのありそうな発注側企業30社(一般機械メーカー、精密機器メーカー、電気機器メーカー、その他)
- ・ 調査手法 訪問ヒアリング
- ・ 委託先 JFEテクノロジー(株)(委託期間 11月~3月)

(7) 技術振興事業

ア 従業者高度化支援事業

中小企業従事者の技術力向上を図るため、専門研修機関等が実施する研修への参加を

支援した。

- ・ 支援件数 5件（セイスイ工業(株)、(株)関鉄工所、(株)住重プラテック、(株)千都建築設計事務所、(有)アルファ技研設計他3社）

イ アイデアコンペ事業（第3回「ベンチャー・カップCHIBA」）

事業者・創業者の独創的な事業プランや技術を公募し、ビジネスプラン発表の場においてベンチャーキャピタル等とのマッチングを行うとともに、応募者には財団が事業化への支援を行った。

- ・ 募集期間 6月1日～7月30日
- ・ 応募総数 33件
- ・ 審査 8月19日の第1次審査（書類選考）により8件に絞る
9月2日の第2次審査（プレゼンテーション）により5件に絞る
- ・ 発表会 10月13日 ホテルサンガーデン
グランプリ1社（副賞100万円）、優秀賞4社（副賞10万円）

ウ 特許取得支援事業

市内、中小企業者等が特許権を取得する際に弁理士費用の一部を支援した。

- ・ 支援件数 10件
- ・ 実績 東葛工業(株)：フッ素樹脂製配管用膨張継手の製造方法
(有)ジーウェイブ：地域を限定したコミュニティサイトシステム ほか

(8) 地域商業活性化事業

ア 商店街アドバイザー派遣事業

商店街の活性化を図るため、専門知識を有するアドバイザーを派遣し、その商店街にふさわしい事業展開を支援した。

- ・ 派遣件数 11商店街（延70日）
- ・ 実績 稲毛商店街振興組合：一店逸品運動の展開について
千葉寺商店会：商店街のIT化推進に関する各種アドバイスの実施について
ほか

イ 商業者育成講座事業

商業後継者の育成を図るため、商業関連のテーマで講演会、パネルディスカッションを実施した。

(ア) 講演会

- ・ テーマ 「お客様についてどれだけ知っていますか？」
～お店の売上アップはまずお客をもっと知ることから～
- ・ 日時 9月15日
- ・ 場所 財団5F会議室
- ・ 講師 千葉市大宮台商店会 有限会社えんが堂 川本 博 氏
- ・ 参加者 25名

(イ) パネルディスカッション

- ・ テーマ 「地域になくってはならない商店街の生き残り策を一緒に考えましょう」
基調講演：「商店街の現状と今後の課題」
パネルディスカッション：「大競争時代における地域商店街のあり方と対応策」

- ・ 日 時 2月23日
- ・ 場 所 財団5F会議室
- ・ 基調講演及びコーディネーター 中小企業診断士 中村 俊雄 氏
- ・ パネラー 千葉市内商店街関係者2名及び千葉大学文学部助教授
- ・ 参加者 33名

2 受託事業

(1) 資金融資事業

中小企業者等の経営基盤の安定を図るため、資金融資事業の受付・調査業務を受託。

- ・ 受付件数 587件
- ・ 融資実績 513件(5,342,053千円)

(2) 空き店舗対策事業

市が実施する空き店舗対策事業の支援候補商店街の審査等を受託。

(3) 内陸企業連合会関係事務

内陸企業連合会と共同して実施する、商談会・研修会等の業務を受託。